

入場無料

ねり☆エコ

平成28年度 環境月間講演会

地球温暖化対策の最前線と 私たちの暮らし



日時

平成28年 **6月5日** (日) 午前10時～正午

会場

練馬区役所・多目的会議室
練馬区役所アトリウム地下・練馬駅下車徒歩5分

内容

第一部
地球温暖化対策の国際的動向
ーパリ協定の採択がもたらすものー
名古屋大学大学院環境学研究科

高村 ゆかり 教授



第二部

日本の温暖化対策ー課題と展望ー

読売新聞東京本社

河野 博子 企画委員

((公財)地球環境戦略研究機関(IGES)理事)

第三部

質疑応答

※事前にいただいた質問を中心にお答えします。

定員

定員100名(申込先着順)

主催:ねり☆エコ(練馬区地球温暖化対策地域協議会)

詳しくは裏面をご覧ください

講演会開催にあたって

昨年、2015年12月12日は地球温暖化対策にとって大きな一歩となりました。世界の国々が協力し合い、温暖化問題に取り組むための国際的枠組み『パリ協定』が採択されたからです。

パリ協定では、産業革命前からの平均気温上昇を「2℃未満に抑える」（1.5℃未満目標にも言及）とされ、日本は温室効果ガスの排出削減量を2030年に2013年比で26%削減（1990年比で18%削減）という目標を掲げました。

そこで今回、国際環境法学の第一人者でCOP21に参加された名古屋大学の高村ゆかり氏と、長年、日本の環境行政・現場の取材を続けている読売新聞の河野博子氏をお迎えし、パリ協定の意味や日本の温暖化対策とその課題などについて考えたいと思います。

プログラム

第一部 講演

「地球温暖化対策の国際的動向 ーパリ協定の採択がもたらすものー」

ー昨年、発表された気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第5次評価報告書では、世界の気温上昇を2℃未満に抑えるためには、今世紀中に温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする必要があることが示された。それを踏まえ、昨年のCOP21においてパリ協定が採択されるまでの、世界の温暖化対策の枠組みづくりの動向や国際交渉の経緯等を振り返りながら、改めてCOP21、パリ協定の意義や概要、課題について明らかにしたい。

講師:高村ゆかり(たかむらゆかり)氏

プロフィール:1964年生まれ。京都大学法学部卒業。一橋大学大学院法学研究科博士課程単位修得。静岡大学助教授、龍谷大学教授などを経て現職。専攻は国際法・国際環境法。

休憩

第二部 講演

「日本の温暖化対策ー課題と展望ー」

パリ協定は、各国が自主的に温室効果ガスの削減目標を定め、対策を進めることが基軸になっている。「2030年度までに13年度比で26%減」の目標に向け、日本はどのように削減を進めるのか。国の方針と計画を説明し、実際の温室効果ガス排出状況の世界動向を振り返り、課題を考える。くらし面から見た排出削減のメリットや、省エネと節電の動き、再生可能エネルギー普及の様々な試みにも触れつつ、新たな社会作りを考えたい。

講師:河野博子(こうのひろこ)氏

プロフィール:1956年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、コーネル大学で修士号取得。1979年、読売新聞に入り社会部配属。社会部次長、ニューヨーク支局長、編集委員を経て現職。

休憩

第三部 質疑応答

皆さまから寄せられた質問にお答えします。

会場アクセス

練馬区役所本庁舎・多目的会議室(アトリウム地下)
豊玉北6-12-1(西武池袋線練馬駅西口徒歩5分)



来場者プレゼント

参加され、アンケートにお答えいただいた方全員に ライフチェックメーター(簡易温湿度計)をプレゼント!

クールビズやエアコンの温度設定などにご活用ください。



お申し込み方法

電話、ファックス、電子メールのいずれかで受け付けます。以下の申込先に次の3点をお知らせください。

- ①環境月間講演会参加
- ②参加人数と全員の氏名・住所・電話番号
- ③「講師陣への質問」(ある方)

お問合せ・お申込み

ねり☆エコ【練馬区地球温暖化
対策地域協議会】

電話:03-3993-8011(代表)

ファックス:03-3993-8070

メール:info@nerieco.com

HP <http://www.nerieco.com>

事務局

〒176-0012 練馬区豊玉北5-29-8練馬センタービル8階

